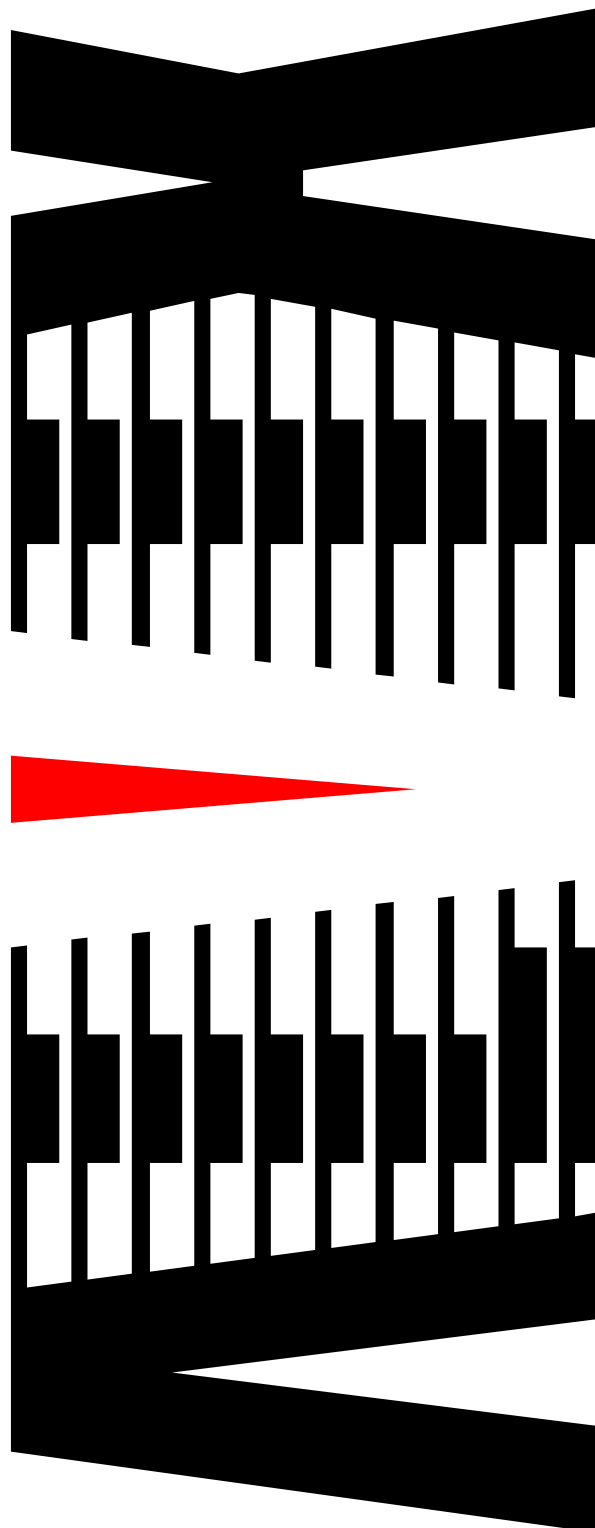


“アルビクス” ビデオ／オーディオ コンバータ

AD-80F

取扱説明書

Ver.0.0



御使用前に必ず本取扱説明書をよく読んで理解して、
安全の為の指示に従って下さい。

もし、不明点が有れば販売店か弊社におたずね下さい。

目 次

	ページ
御使用上の注意事項	1
1. 主な機能と特徴	2
2. 仕様	3
3. 各部の名称と機能	4
3 - 1 フロント	4
3 - 2 リア	6
4. 設置手順	7
4 - 1 ラックマウント	7
4 - 2 AD-80F ボード交換方法	7
4 - 3 電源ユニット交換方法	7
5. 音声モード対応表	9
6. Webブラウザによる設定	10
6 - 1 ログイン	10
6 - 2 ネットワーク設定	12
6 - 3 SNMP 設定	125

御使用上の注意事項

必ずお守り下さい（安全にお使いいただくために）

警告

- ◇ 内部に液体をこぼしたり、燃え易い物や金属類を落としてはいけません。（火災や感電、故障の原因となります。）
- ◇ 煙が出たり、異常音、臭気などに気が付いたときは、すぐに電源コードを抜いて販売店に御連絡下さい。

注意

- ◇ 電源プラグの接続が不完全なまま使用しない。（感電やショート、火災の原因となります。）
- ◇ 電源コードを引っ張ったり、重いものをのせたりしない。（電源コードが損傷し、火災や感電の原因となります。）
- ◇ 電源コードを引っ張ってコンセントから抜かない。（感電やショート、火災の原因となります。）
- ◇ 仕様にて規定された電源電圧以外では使用しない。（火災や感電の原因となります。）

お願い

- ◇ 風通しの悪い所に置いたり、布などで通風孔を塞いだりしないで下さい。（故障の原因となります。）
- ◇ 次の様な所には置かないで下さい。
湿気が多い所、油煙や湯気の当たる所、直射日光の当たる所、熱器具の近く
埃の多い所、強い磁気のある所、極端に寒い所、極端に暑い所、激しい振動のある所、安定しない台の上、傾いた所
（故障の原因となります。）

1. 主な機能と特徴

- ◇デジタル放送受信機の映像、音声信号出力をHD/SD-SDI信号に変換する変換機です。
- ◇映像はD端子から出力される1080i/480iアナログYPbPr信号を、HD-SDI(1080i入力時)/SD-SDI(480i入力時)信号に変換します。
- ◇音声は光デジタルオーディオ信号(PCM)をSDI信号にエンベデッドします。
- ◇2ヶ国語放送に対応するため、音声入力は2系統あり、4ch(L₁、R₁、L₂、R₂)をエンベデッドします。
※この場合、2台の受信機から光デジタルオーディオ信号を入力する必要があります。
- ◇オプションのAACデコーダボードをアドオンすることで、5.1chサラウンド音声をエンベデッドできるようになります。
- ◇リファレンス入力に同期し出力します。
※入力とリファレンスが非同期の場合、映像のフレーム間で飛越し、又は重複が発生します。
- ◇入出力状態や機器状態をSNMPトラップで外部に通知します。
- ◇2U筐体に入出力基板を最大8枚、制御基板を1枚実装できます。
- ◇電源はリダンダントです。

2. 仕様

入力	映像信号	形式	YPbPr-D3(HD)/D1(SD)
		接栓	D端子コネクタ
	音声信号	形式	光デジタルオーディオ
		接栓	光角型コネクタ
出力	SDI信号	形式	HD:SMPTE292M (1080i59.94) SD:SMPTE259M-C (480i59.94) 1チャンネルオーディオ最大8ch
		接栓	BNCコネクタ
入力	リファレンス信号	形式	BBS (NTSCブラックバースト) 又は 3値 SYNC(HD)
		接栓	BNCコネクタ
電源		AC 100V±5%	
		コネクタ	3Pインレット
外形寸法		H88×W430×D355 (mm) (突起含まず)	
重量		約9kg	
消費電力 (8ch搭載時)		80W	
皮相電力 (8ch搭載時)		160VA	
使用温度範囲		5℃ ~ 40℃	

3. 各部の名称と機能

3-1 フロント

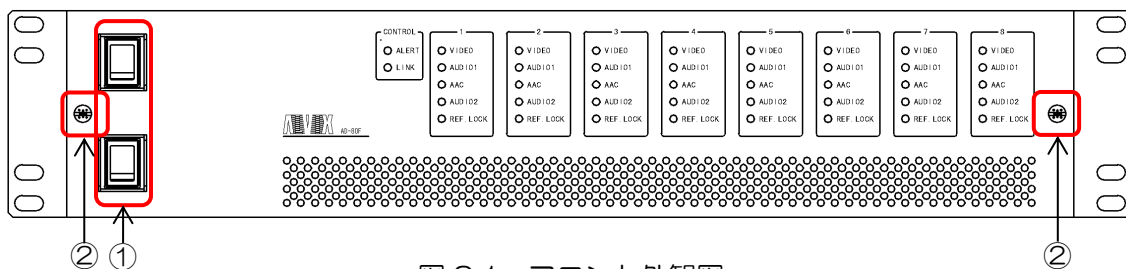


図 3.1 フロント外観図

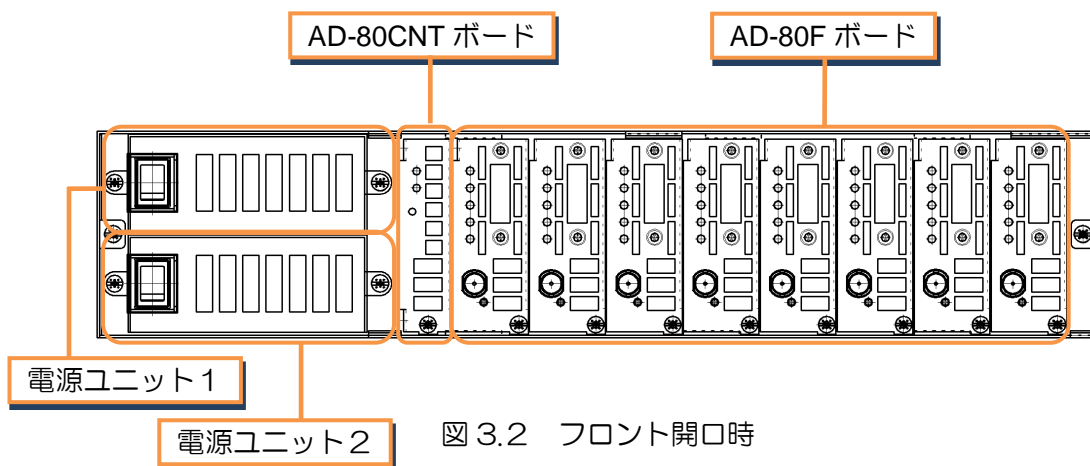


図 3.2 フロント開口時

- ① 電源スイッチ
本機器の電源ON/OFFを行います。
通常は、上下のスイッチを両方ONにして使用してください。
- ② フロント着脱用ネジ
フロントを開口する際には、ネジを緩めてフロントの着脱を行います。

AD-80CNT LEDの状態

1. ALERT (機器状態)
機器状態を表します。

機器状態	LED
異常 (電源・ファン)	赤色に点灯
正常	消灯

2. LINK

LINK 状態を表します。

LINK 状態	LED
100Mbps	緑色に点灯
10Mbps	橙色に点灯
LINKなし	消灯

AD-80F LED の状態

1. VIDEO (YPbPr 映像状態 LED)

アナログ YPbPr 映像の状態を表します。

入力映像の状態	LED
D3(1080i)映像信号を入力	緑色に点灯 (出力映像は HD-SDI)
D1(480i)映像信号を入力	橙色に点灯 (出力映像は SD-SDI)
入力映像なし	約 1 秒周期で赤色に点滅

2. AUDIO1 (光デジタル音声 1 状態 LED)

光デジタル音声 1 (OPT.AUDIO1) の入力状態を表します。

入力音声の状態	LED
OPT.AUDIO1 PCM 入力あり	緑色に点灯
OPT.AUDIO1 PCM 以外入力あり	緑色に点灯、一瞬消灯
OPT.AUDIO1 入力なし	消灯

3. AAC (AAC 信号状態 LED)

オプションの AAC デコーダの有無/AAC 信号状態を表します。

AAC デコーダ実装の場合)

入力信号の状態	LED
OPT.AUDIO1 に AAC 音声を入力	緑色に点灯
OPT.AUDIO1 に PCM 音声を入力	約 2 秒周期で緑色に一瞬点灯

(AAC デコーダ実装時の AAC 音声入力は OPT.AUDIO1 のみ対応です)

AAC デコーダ未実装の場合)

LED は常に消灯したままとなります。

4. AUDIO2 (光デジタル音声 2 状態 LED)

光デジタル音声 2 (OPT.AUDIO2) の入力状態を表します。

入力音声の状態	LED
OPT.AUDIO2 入力あり	緑色に点灯
OPT.AUDIO2 入力なし	消灯

5. REF.LOCK (出力同期 ロック状態)

出力同期状態を表します。

出力同期の状態	LED
リファレンスにロック出力	緑色に点灯
内部同期	消灯

3-2 リア

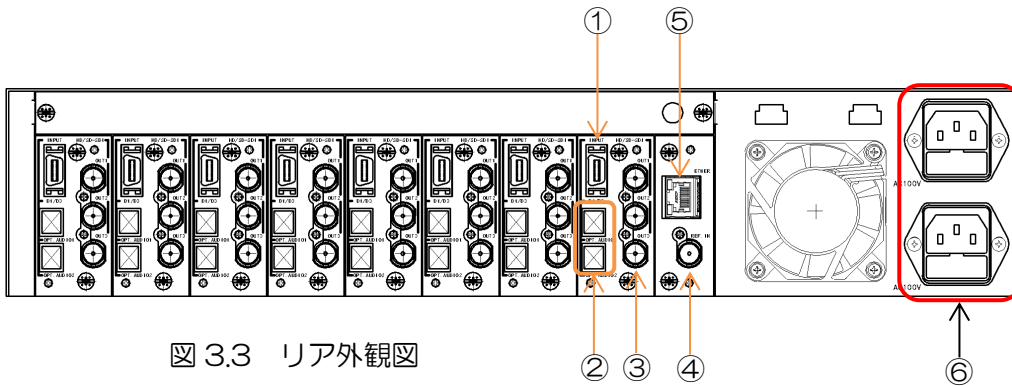


図 3.3 リア外観図

- ① 映像入力
受信機からの映像信号。D1 または D3 信号を入力してください。
- ② 音声入力
受信機からの音声信号。光デジタルオーディオ信号を入力してください。
上が AUDIO 1。
AUDIO 1 には、
AAC ボード有りの場合、AAC 又は PCM を入力してください。
AAC ボード無い場合、PCM を入力してください。
AUDIO 2 には、
PCM を入力してください。
- ③ SDI 信号出力 1～3
D1 入力時は、SD-SDI 信号、D3 入力時は、HD-SDI 信号を出力します。
- ④ リファレンス信号入力
リファレンス信号を入力してください。
BBS (NTSC ブラックバースト) 信号、又は
3 値 SYNC (HD 3 値 SYNC) を入力します。
リファレンス信号が有ると、
AD-80F 基板は自動判別でリファレンスロック動作になります。
AD-80F 基板の REF.LOCK を示す LED が点灯します。
リファレンス信号が無い場合、内部同期動作になります。
- ⑤ LAN
LAN インターフェースコネクタです。
- ⑥ AC 入力
本機の電源入力 (3P インレット) です。
電源コードは上下とも接続して下さい。

4. 設置手順

4-1 ラックマウント

◇専用取り付け金具を使用することで、EIA 2U/JIS 2Jとして取り付けることが可能です。

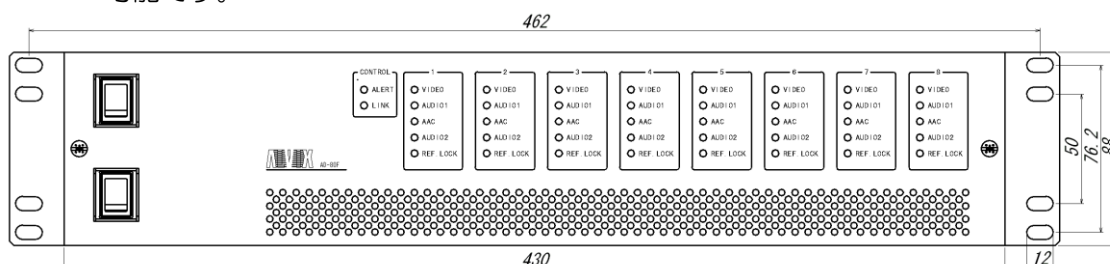


図 4.3 ラックマウント用金具

4-2 AD-80F ボード交換方法

◇各チャンネルのAD-80F ボードはホットスワップ可能になっています。

※ホットスワップを行う際には、隣接基板との接触に十分に注意して下さい。

1. フロントパネルを取り外します。
2. 交換する基板のフロント固定用ネジ（基板側の固定ネジ）を緩めます。
3. 交換する基板のリア固定用ネジ（2か所固定ネジ）を緩めます。
4. ケーブルを外します。
5. 基板を隣接基板に注意しながらフロント側より引き抜きます。
6. 新しい基板を本体に挿入します。
※挿入時に、基板が上下のレールにきちんと挟まっていることを確認して下さい。
7. 基板を奥まで押し込み、固定用ネジを締めます。
8. フロントパネルを戻します。

4-3 電源ユニット交換方法

◇電源ユニットはホットスワップ可能になっています。（片側ずつの交換となります。）

1. フロントパネルを取り外します。
2. 交換する側の電源スイッチをOFFします。
3. 交換する電源ユニットの固定用ネジを緩め、電源ユニットを引き抜きます。
4. 新しい電源ユニットを本体に挿入し、固定用ネジを締めます。
5. フロントパネルを戻し、電源スイッチをONします。

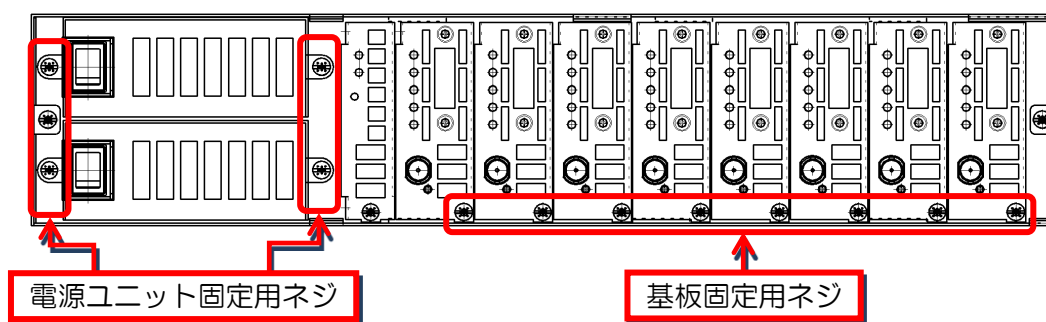


図 4.4 フロント固定用ネジ

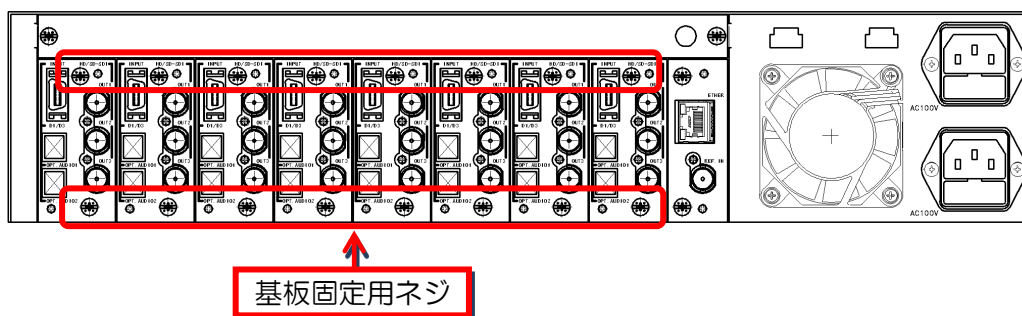


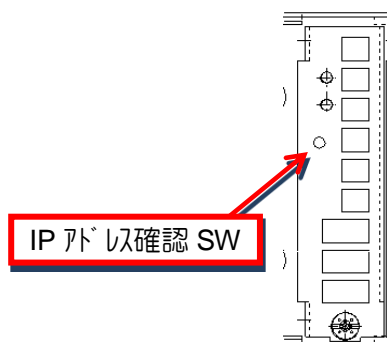
図 4.5 リア固定用ネジ

4 - 4 IP アドレス確認方法

◇使用中に IP アドレス・ログイン情報が不明になった場合、
以下の手順で確認出来ます。

1. フロントパネルを取り外します。
2. AD-80CNT 基板の IP アドレス確認 SW を押しながら、電源を起動します。
3. 本体アドレスが 192.168.200.254/24 で起動します。
4. WEB ブラウザで、<http://192.168.200.254> にアクセスします。
5. ログイン ユーザー名、パスワード共に"root"
6. ネットワーク設定を確認する事で、元々の IP アドレスが表示されます。
7. 再起動で、元々の IP アドレスで起動します。

※ログイン情報が不明の場合、ログイン ID・パスワードを更新してください。



5. 音声モード対応表

AAC 音声内の音声モード／出力信号の音声 ch 割り当て／局間情報内の音声モードの対応は AD-80F の動作モード（モード 1／モード 2。出荷時に設定選択）によって変化します。
各モード時の対応は下記の通りとなります。

1. モード 1（デフォルト設定：AAC 音声の音声モードを局間情報にそのまま出力）

1. 1. OPT.AUDIO1 に AAC 音声を入力した場合

AAC 音声の音声モード	OPT.AUDIO2 PCM 音声入力	ch1	ch2	ch3	ch4	ch5	ch6	ch7	ch8	局間情報内の音声モード
モノラル	なし	M	M							M
2ヶ国語		M1	M2							2M
ステレオ		L	R							S
5.1ch		L	R	C	LFE	Ls	Rs			5.1
モノラル	あり	M	M	L2	R2					M
2ヶ国語		M1	M2	L2	R2					2M
ステレオ		L	R	L2	R2					S
5.1ch		L	R	C	LFE	Ls	Rs	L2	R2	5.1

※L2/R2：OPT.AUDIO2 に入力した PCM 音声の Lch/Rch

1. 2. OPT.AUDIO1 に PCM 音声を入力した場合 (AAC デコーダ未実装時も同様)

OPT.AUDIO2 PCM 音声入力	ch1	ch2	ch3	ch4	ch5	ch6	ch7	ch8	局間情報内の音声モード
なし	L	R							S
あり	L	R	L2	R2					2S

2. モード 2（実際の音声 ch 割り当てを考慮して局間情報の音声モードを設定）

2. 1. OPT.AUDIO1 に AAC 音声を入力した場合

AAC 音声の音声モード	OPT.AUDIO2 PCM 音声入力	ch1	ch2	ch3	ch4	ch5	ch6	ch7	ch8	局間情報内の音声モード
モノラル	なし	M	M							M
2ヶ国語		M1	M1	M2	M2					2S
ステレオ		L	R							S
5.1ch		L	R	C	LFE	Ls	Rs			5.1
モノラル	あり	M	M	L2	R2					2S
2ヶ国語		M1	M1	M2	M2	L2	R2			3S
ステレオ		L	R	L2	R2					2S
5.1ch		L	R	C	LFE	Ls	Rs	L2	R2	5.1+S

2. 2. OPT.AUDIO1 に PCM 音声を入力した場合 (AAC デコーダ未実装時も同様)

OPT.AUDIO2 PCM 音声入力	ch1	ch2	ch3	ch4	ch5	ch6	ch7	ch8	局間情報内の音声モード
なし	L	R							S
あり	L	R	L2	R2					2S

6. Webブラウザによる設定

◇本装置はWebブラウザを使用し、SNMP設定、ネットワーク設定を行うことができます。

6-1 ログイン

◇スーパー装置の設定画面を開きます。

1. URL入力

■インターネットエクスプローラーを起動し、アクセスしたい機器のIPアドレスを入力します。

※出荷時のIPアドレスは御社ご指定のアドレスとなっています。

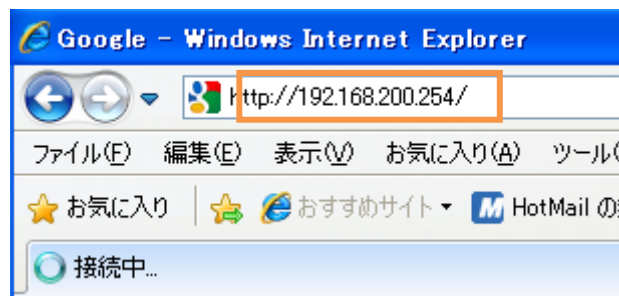


図 5.1 URL入力

2. ログインページ

■ログインページが表示されますので、**ログイン** ボタンをクリックします。

※お気に入りへはログインページを登録して下さい。

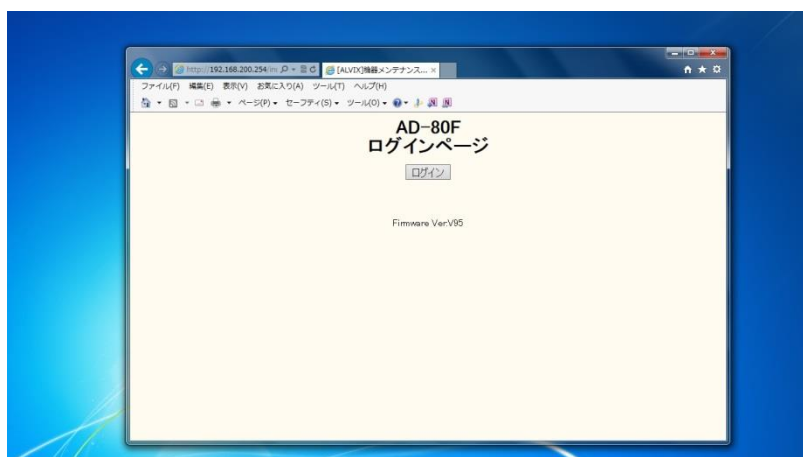




図 5.2 ログインページ

3. ログイン画面

- ユーザー名とパスワードの入力を求めるダイアログが表示されます。
- ユーザー名とパスワードを入力し、 ボタンをクリックしてください。
-  ボタンをクリックすると、ログインを中止します。

※初期状態では、ユーザー名：root、パスワード：root、でログインできます。

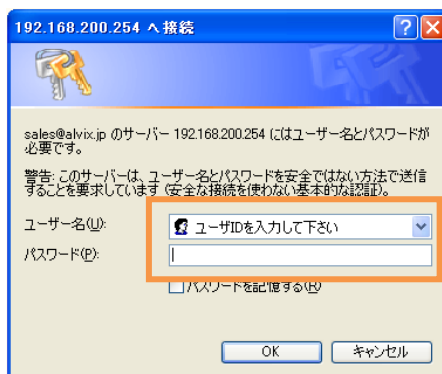


図 5.3 ログイン画面

6-2 メイン画面

◇メイン画面が開きます。

ファームバージョンなどのバージョン情報と現在の機器状態を表示します。メニューの項目で、設定項目を選択します。

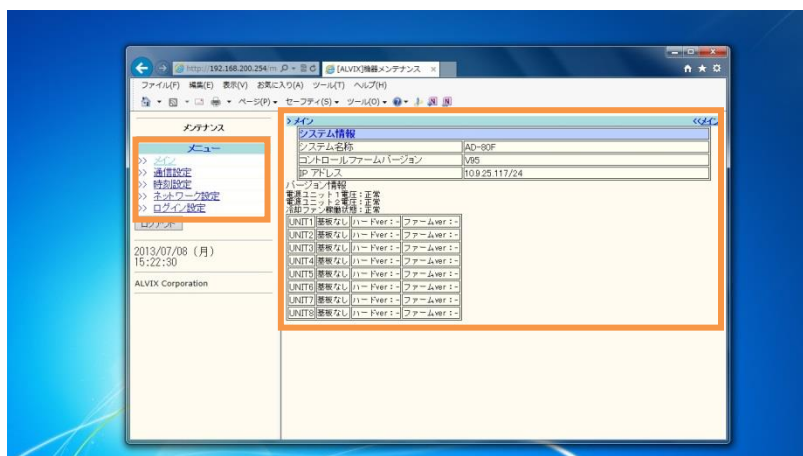


図 5.4 メイン画面

6-3 SNMP設定

◇機器の監視を行うためのSNMPを設定します。

1. メニューより「SNMP設定」をクリックして下さい。

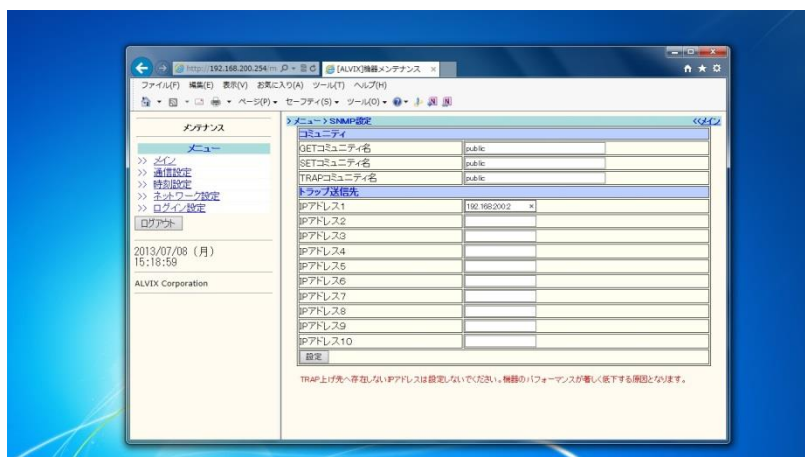
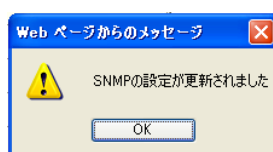


図 5.5 SNMP 設定

2. 任意のコミュニティ名を設定してください。
■半角英数30文字以内で設定できます。
3. トラップ送信先のIPアドレスを設定してください。
■送信先アドレスは10個まで設定できます。
※TRAP上げ先へ存在しないIPアドレスは設定しないでください。
機器のパフォーマンスが著しく低下する原因となります。
4. **設定** をクリックしてください。確認メッセージが表示されます。



6-4 時刻設定

◇機器の時刻設定や、NTPサーバの設定ができます。

1. メニューより「時刻設定」をクリックして下さい。
2. NTPサーバ名、時刻更新間隔を入力します。(SNMPでも設定可能)

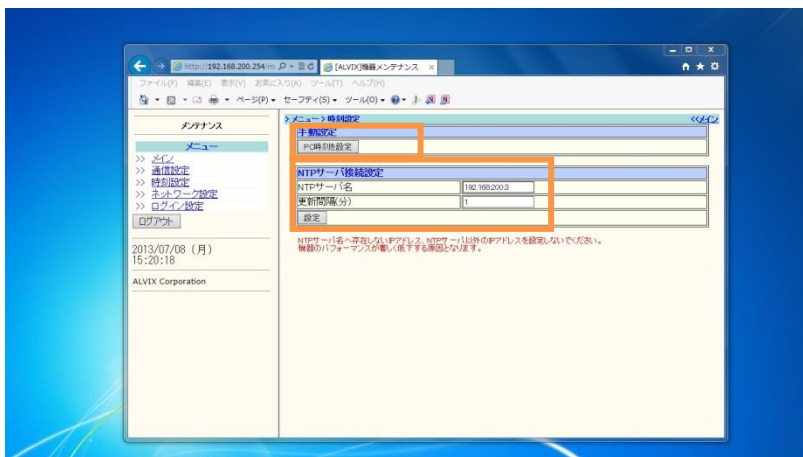


図 5.6 時刻設定

3. 手動設定（任意）
NTPサーバが無く、SNMPで時刻設定しない場合、
PC時刻を設定可能です。
PC時刻設定ボタンを押してください。

6-5 ネットワーク設定

◇本体のIPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイの変更ができます。

1. メニューより「ネットワーク設定」をクリックして下さい。

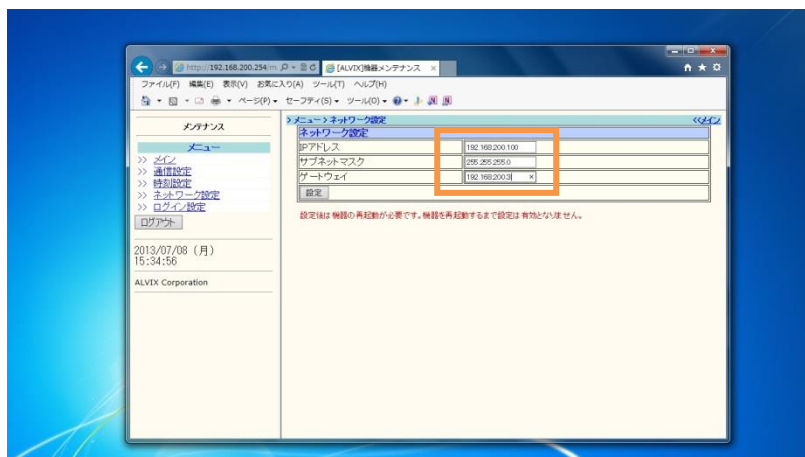
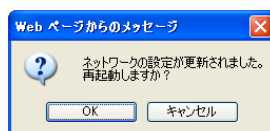
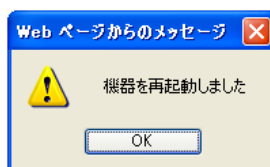


図 5.7 ネットワーク設定

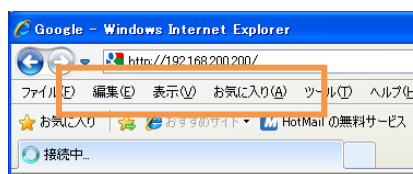
2. 変更したいIPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを入力します。
3. **設定** をクリックしてください。確認メッセージが表示されます。



4. **OK** をクリックして、機器を再起動してください。確認メッセージが表示されます。起動には、約30秒かかります。LINKがLED点灯->消灯->点灯で起動完了。



5. ブラウザに新しいIPアドレスを入力し、再ログインしてください。



6-6 ログイン設定

◇ログインID、パスワードの変更ができます。

1. メニューより「ログイン設定」をクリックして下さい。

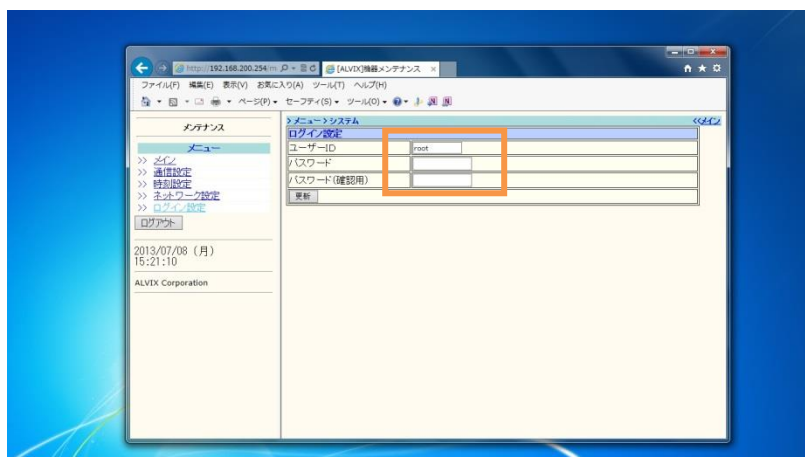
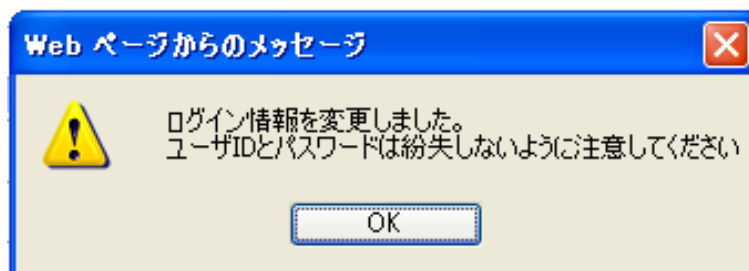


図 5.8 ログイン設定

2. ユーザーID、パスワードを入力します。
ユーザーID、パスワード共に、半角英数12文字まで指定できます。
3. **更新** をクリックしてください。確認メッセージが表示されます。



お問い合わせ先

お買い上げいただきました弊社製品についてのアフターサービスは、お買い上げの販売店におたずねください。
なお、販売店が不明の場合は弊社へお手数でもご連絡ください。

故障・保守サービスのお問い合わせは

販売店：

TEL
担当

製品の操作方法に関するお問い合わせは

無断転載禁止

アルビクス株式会社
〒959-0214
新潟県燕市吉田法花堂1974-1
TEL：0256-93-5035
FAX：0256-93-5038